

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- 厚真町教育フォーラム終了
- メディアリセットチャレンジ
- 第4回子ども教育委員会報告
- 7月定例教育委員会報告
- 文化祭作品募集
- 旭川陶芸フェス町民体験ツアー
- 秋季英会話教室のお知らせ
- 図書室だより
- 放課後子ども教室活動紹介

厚真の子どもたちの未来を語り合う

厚真町教育フォーラム開催

8月6日(月)地域の方々、小中学校の保護者、教職員、合わせて約90名が総合福祉センター大集会室に会し「厚真町教育フォーラム」が行われ、厚真の子ども達や小中一貫教育をめざす厚真町のこれからの教育について語り合いました。

1部では、教育フォーラムの趣旨説明の後、北海道教育大学釧路校の内山隆教授が「小中一貫教育の取組とその可能性」と題して講演。「厚真町の子どもたちをどんな子に育てたいか。その願いを地域、保護者、教職員が共有することが大切」とわかりやすくお話いただきました。

2部では、「厚真町の小中一貫教育について語り合う」と題して、グループ形式で話し合いが行われました。教職員やPTA役員、学校運営協議会委員など、子どもたちに関わる多くの方々が熱く語り合う地域の教育力の高さに、講師の内山教授も驚かれたご様子でした。

本フォーラムのダイジェストは、次号でお知らせします。



内山教授の講演



ワークショップ中の様子

厚真町アウトメディア運動関連

メディアリセットチャレンジ大会を実施しました

7月15日(日)、初の試みとして、1日限定のメディアリセットチャレンジ大会が行われました。

この大会には、19軒の家庭から応募があり、そのうち15軒(子どもの数は29人)がチャレンジに成功(同等の成果も含め)しました。わずか1日ですが、スマホ、ネット、電子ゲームをせず、夕食時からテレビを消すなど、家族全員の協力がなければ、チャレンジに成功するのが難しい取組です。チャレンジに成功したお子さんからは、「朝の目覚めがとてもよかった。」などの感想が発表されました。



7月28日に行われた表彰式の様子

11月には、中学校の期末テスト3日前から、メディアリセットチャレンジが行われます。子どもたちはぜひ参加し、夜は早く寝て、電子メディアから離れた生活を体験してみましょう。

保護者をはじめとする大人の方々のご協力も重ねてお願いいたします。

第4回「子ども教育委員会」開催報告

～ノーゲームデーの取組率を100%に！～

7月30日(月)に、総合福祉センターで、今年で4回目となる「子ども教育委員会」が開催されました。町内の小・中学校の児童会、生徒会役員16人が出席し、今年度から始まった厚真町アウトメディア運動の重点的な取組である「ノーゲームデー」の充実に向けて協議を行いました。子どもたちからは、課題の解決のために、数多くの意見が出されました。



小学校グループの協議

課題;ゲームをしない人を増やすためには？呼びかけや遊びの工夫だけでなく、家族との協力や友達との話し合いなど、自分だけでなく、周りの人(親や友達)にも協力してもらって進めるなどの意見が出されました。



【家庭でできること】

- ゲームの時間を決める。
- 家の中でできる楽しい遊びを見つける。
- 天気のいい日は外で遊ぶ。
- ノーゲームデーを家族と協力してやる(親も参加する)。
- 友達と前もって話し合い、ゲームの時間をへらすようにする(友達の都合を聞いておく)。

【学校でできること】

- 校内放送や集会で呼びかける。
- 児童会だよりで親にも呼びかける。

中学校グループの協議

課題;ノーゲームデーの取組率を100%にする！課題解決のために、ノーゲームデーに取り組まない人へのアプローチをどうすればよいか話し合い、親から「今日はノーゲームデーの日でしょ。」などと声をかけてもらうなど、周りの人にも関わってもらうなどの意見が出されました。



- ゲームをすることのリスクを意識する。
- 現状を知ってもらう。
- ノーゲームデーに参加することのメリットを知ってもらう。
- 開き直っている人へ対策を考える(名前を変える)。
- アンケートをシンプルにする。
- 子どもだけでなく、周りの人もノーゲームデーに関わる。

周りの人にもノーゲームデーに関わってもらうために

- 校内放送でメリットを伝える。
- ノーゲームデーの日常化(カレンダーに)
- 防災無線で呼びかける。
- ポスター、回覧板。
- テーマソングやゆるキャラ作成、景品など

文化祭展示作品募集

11月3日(土)(文化の日)、4日(日)に「厚真町文化祭」が総合福祉センターをはじめ各施設で開催されます。

文化祭実行委員会では、町民の皆さんから様々な展示作品を広く募集しています。

なお、展示スペースに限りがありますので展示を希望される方は、9月12日(水)までに下記までお申し込みください。

◆問合せ

教育委員会内 文化協会事務局
☎27-2495 担当 宮下



旭川陶芸フェス町民見学ツアー

全道から110以上の窯元が集結する盛大な陶芸フェスティバルです。

他には旭山動物園の見学を予定しています。陶器・やきものに興味のある方には必見の見学ツアーです。ぜひご参加ください。

主催 厚真町陶芸同好会
日時 9月22日(土)
午前6時50分集合
午前7時00分出発
午後6時00分厚真着 (予定)

集合場所 青少年センター前

募集定員 33名

参加費 大人3,000円(バス代、動物園入場料含む)

小人2,300円(中学生以下)

※なお、参加人数が28名に満たない場合、大人参加費を3,500円とさせていただきますのでご了承ください。

申込締切 9月10日、又は定員になり次第

問合せ先 臼澤さん(☎29-7870、
又は、090-6210-9509)

その他 陶芸市到着後は集合時間まで自由行動としますので、昼食は会場内で各自でとっていただきます。

7月定例教育委員会

7月24日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚議会総務文教常任委員会事務調査(厚真高校の存続に向けた新たな振興策の方向性)について、
鶴川漁業協同組合厚真ホッキ貝漁業部会から学校給食センターへホッキ貝の寄贈について、北海道150年記念事業について(ほか9件)

◆議案

厚真町立学校における働き方改革アクション・プランについて(1件)

◆協議事項

新学習指導要領移行に伴う外国語・外国語活動の時数の確保について(1件)

◆その他

厚真町教育フォーラムの開催について、教育委員道内視察研修について(2件)

★問合せ

教育委員会学校教育グループ
Tel27-2494

英会話教室がリニューアル!

カナダ出身の町ALT(外国語指導助手)エリッサさんによる9月～11月期の英会話教室を開講します。今期は内容をリニューアルし、参加者が内容を選択できる2クラス構成の教室となります。両クラスの参加も可です。途中からの参加もできますので、参加希望の方は事前に申し込みをお願いします。

◆日程 9月12日～11月14日まで

毎週水曜日 全10回

◆時間 <基礎クラス>

午後6時～6時40分

<初級クラス>

午後6時50分～午後7時30分

◆場所 青少年センター2階 研修室

◆対象 中学生以上の町民の方

<基礎クラス>

あいさつや日常生活で使う単語の習得、ミニゲームなどを楽しみたい方

<初級クラス>

基礎以上の英会話、英語でのディベート(議論)などを楽しみたい方

◆申込み 教育委員会 社会教育グループ

◆問合せ ☎27-2495

図書室だより

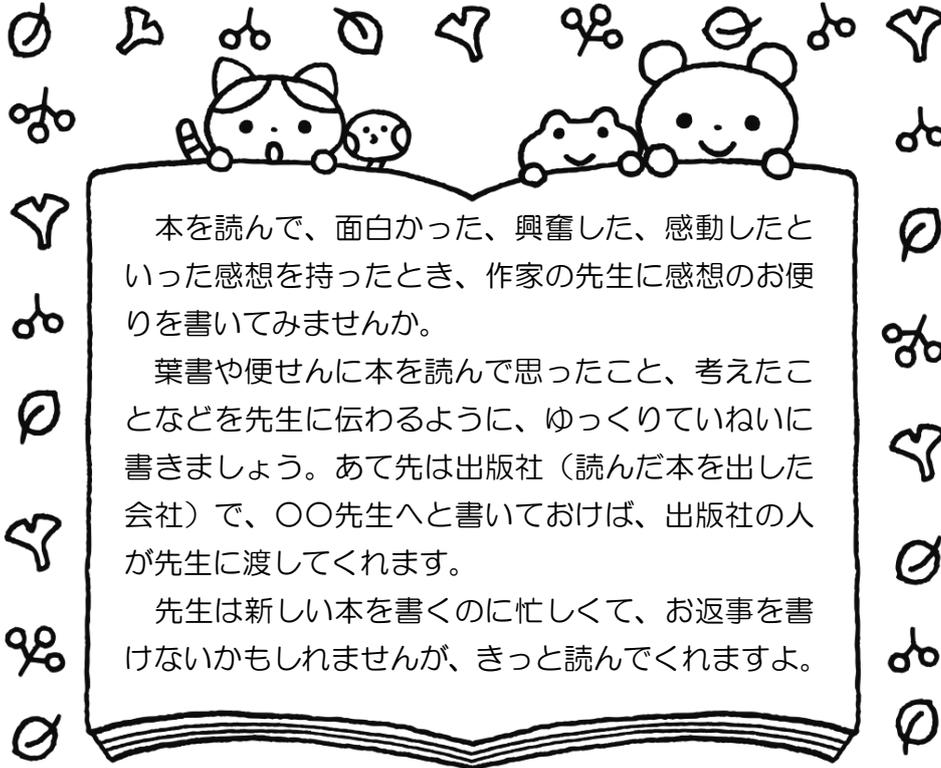
青少年センター図書室
TEL 27-2495 (平日)

本を書いた先生に手紙を書いてみよう

蔵書点検のお知らせ

図書室では本の管理が適正に行われているかを確認するため、蔵書点検を行います。ご自宅に貸出期限が過ぎている図書室の本はありませんか。至急、返却ポストへお返してください。

点検期間中も、通常通り図書室は利用できます。なお、図書室内での点検を行いますので、多少作業音がします。ご了承ください。



本を読んで、面白かった、興奮した、感動したといった感想を持ったとき、作家の先生に感想のお便りを書いてみませんか。

葉書や便せんに本を読んで思ったこと、考えたことなどを先生に伝えるように、ゆっくりていねいに書きましょう。あて先は出版社（読んだ本を出した会社）で、〇〇先生へと書いておけば、出版社の人が先生に渡してくれます。

先生は新しい本を書くのに忙しくて、お返事を書けないかもしれませんが、きっと読んでくれますよ。

青少年センターから9月のお知らせ

プラネタリウム

○投影日時

- ・毎週火曜日 午後3時30分～
- ・毎週土曜日 午後1時30分～

○投影内容

- 1 初秋の星座解説
- 2 かぐや姫のお話

※グループ、団体などご利用を希望の際は、事前にお問い合わせください。

中秋の名月観望会

当日は、月・土星・火星などを観望できます。

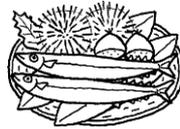
と き 9月24日(月)
午後6時30分～8時30分
※天候不良の場合は、プラネタリウムでの星空解説を行います。

ところ 青少年センター天文台
※夜間開催のため、小・中学生の参加は、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

お問い合わせ先:教育委員会社会教育グループ
☎27-2495



新着図書紹介



平成30年8月24日発行

ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書 『 仁侠浴場 』
今野敏/著

出版社、高校、病院と問題有りの物件を次々に立て直してきた阿岐本組。今度の物件は東京で残り少ない普通の銭湯。銭湯ならではの利権、家族経営のむずかしさなどを阿岐本のオヤジ流に解決します。個人的に、最初は歓迎されないのに、お別れの頃にはもっといてほしいと言われるのがこのシリーズのお約束で気に入っています。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

- ・ハゲタカⅠ、Ⅱ 各上下巻 真山仁/著
- ・泥濘 黒川博行/著
- ・水槽の中 畑野 智美/著

児童書 『 牛乳パックで作るミニチュア家電 』
佐藤 京子/著

この本を読んだとき、牛乳を飲もうと思いました。ドラム式洗濯機、自走式掃除機、ジューサーミキサーといった自宅にあったらいいなと思うおしゃれ家電を牛乳パックで作ることができます。そして本物のように動かすことができます。おまごとも十分活躍してくれますよ。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

- ・ベーターベン 越水利江子/文
- ・少女探偵アガサ日本編 スティーブンソン/作

実用書 『 子どもと一緒に覚えたい毒生物の名前 』
マイルスタッフ/編

もうすぐキノコ狩りの季節、そして秋の誤食事故の季節ですよ。キノコに関しては、「キノコ採り名人」でも間違えることがあるので本当に気をつけてくださいね。北海道の気候も変わり、いつの間にか本州の生物が生息できるかもしれません。北海道にはいないから~と思わず、いつか役に立つことがあるかもしれない豆知識として覚えておきましょう。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

- ・体にうれしい藤井恵のまいにち納豆 藤井恵/著
- ・縄文力で生き残れ 縄文 ZINE/編

絵本 『 おともだちたべちゃった 』
マッキノン/作

せっかくできたおともだちを食べちゃった主人公。もうおともだちがみつけれないかもしれないと、あわてて森にすむ生き物たちに声をかけます。いろいろなおともだち候補におことわりされるなか、最後に出会えたおともだちは…というお話。ちょっと「ぞわわ」と怖くなる絵本です。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

- ・どっせい！ねこまたずもう 石黒亜矢子/作・絵
- ・おばけのかくれんぼうべんとう 木坂 涼/文
- ・まいごのたまご ラティマー/作



～図書室からのお知らせ～



- 9月の休館日
 - 17日(月) 敬老の日
 - 23日(日) 秋分の日
- 青少年センター図書室開館時間
 - 午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
 - 午前9時から午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室
 - 午前9時から午後5時(月～日)
 - ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

- 9月の移動図書
 - ・上厚真小学校 6日、20日(木) 午前10時00分～10時30分
 - ・ともいき荘 21日(金) 午後2時00分～2時30分
- 絵本の読み聞かせ会 おはなしのびっ子
 - 日時：27日(木) 午前10時30分～
 - 場所：青少年センター 絵本コーナー

☆放課後子ども教室☆

お盆を過ぎると秋の風。日差しは強くても、吹き抜ける風にはひんやりとした秋の空気を感じます。夏休みが終わった子どもたちは、家族でキャンプに行った話や、友達と花火をした話など楽しい思い出を報告してくれました。夏休みが終わってしまうのはちょっぴり寂しい気持ちになりますが、2学期は夏から秋、そして、冬へと移り変わる季節を感じられるとても楽しい4か月です。地域の自然や産業などをとおして、季節ならではのふるさとの情景をたくさん体感してほしいと思います。

夏休み中は通常の放課後子ども教室はお休みとなっていましたが、夏休みの特別プログラムとして川遊びに出かけました。7月28日(土)と29日(日)の2日間、町内の1年生から6年生まで計36名が参加。活動場所は昨年も訪れたむかわ町穂別です。7月前半に続いた長雨の影響もなく、水量、水温、気温ともに川遊びには絶好の条件がそろった2日間でした。

厚真からスクールバスに乗り目的地まで約40分。バスから降りたら1日のスケジュールの確認やスタッフ紹介などのオリエンテーションとお昼ご飯を済ませ、川遊びの準備です。ライフジャケットとヘルメットを装着し、安全に川遊びを楽しむための注意点について専門のスタッフから指導を受けた後、さっそく川遊びがスタートしました。ライフジャケットの浮力を使い、川の流れに身を任せてプカプカと流れて遊ぶボディラフティングや、たも網での魚とり。水面には濁りもなく、スイスイと泳ぐ魚の姿がとてもよく見えました。子どもたちが楽しみにしていたゴムボートも登場し、ボート乗り場には順番待ちの列が絶えません。途中、おやつや温かいお茶で休憩を取り、川遊びの後半戦では飛び込みジャンプ大会も始まりました。約1~2メートルの岸壁の上に立ち、川面に向かってジャンプ！下から見るとたいした高さではないように見える岸壁も、実際に立って見ると大違い。高さや怖さのドキドキと、やってみたいというワクワクした気持ちの葛藤。怖さに勝って飛び込んだときの爽快感と達成感。一度、飛び込む度胸がついた子は何度も繰り返しチャレンジしていました。活動の最後には穂別産のスイカでおやつタイム。たくさん遊んだ後にみんなで食べるおやつのは味が格別です。帰りのバスの中では、遊び疲れて夢の中の子もいました。北海道の短い夏を、思う存分、満喫した2日間でした。

